

# 岐阜県議選でも過剰請求

## ポスター費 議員側、返還申し出

四月の岐阜県議選で当選した県議の一人が十四日、選挙公営制度に基づいて県が負担した選挙ポスター製作費について、「実際にかかった費用よりも多く請求していた」として、過剰請求分の返還を県選管に申し出たことが分かった。

**選挙公営**  
名土屋 昭西 目の前！

四月の岐阜県議選で当選した県議の一人が十四日、選挙公営制度に基づいて県が負担した選挙ポスター製作費について、「実際にかかった費用よりも多く請求していた」として、過剰請求分の返還を県選管に申し出たことが分かった。

2007. 6. 15 中日

訂正理由を書いた文書も添えられてあったといふが、県選管は「過剰請求が故意だったかどうかは、現段階では申し上げられない」としている。県議選のポスター製作費は、選挙区の掲示場数が約百七万一千約六十五万と定められている。請求額は候補者によって上り下りがある。十八日に、各候補の調査

山県市に返還申し出  
市議から転出選挙  
2004年の岐阜県山県市議選で当選した市議が、印刷業者を通じて請求したポスター代を水増し請求したとして、県警から事情聴取された問題で、平野元同市長は14日、今年の統一地方選で市議から県議に立候補し当選した際、(53)が、同市にポスター代を請求したことが明らかになった。県議は、市議選で公費負担が認められる限度額(37万)を求めたいと話した。

## 県議選のポスター製作費水増し疑惑 返還求め住民監査請求

18日

2007. 6. 15 読売

選挙公営制度を巡り、県議選の一部の候補者が、ポスター製作費を水増し請求した疑惑があるとして、市民グループ「くらし・しぜん・いのち 県民ネットワーク」(事務局＝寺町知正・山県市議)は、払いきりた製作費を県に返還するよう求め、18日に県監査委員に住民監査請求する。

対象は2003年と今年なことから、今春の県議選と合わせて再度、住民監査請求する。

### 修正手続き 県議から相次ぐ

山県市議選のポスター製作費水増し問題に絡み、県選管管理委員会に県議が「自民クラブ」の渡辺信行議員が問い合せをした。修正ができたのか、「修正するにほごんな手続きがあるのか」などの内容だが、今のところ、修正手続きの申し出はないという。

ポスター製作費を調査するよう指示したのを受けて、議員が問い合せをしているとみられる。

# 代議士 県議選 監査請求へ

## ポスター 岐阜の市民団体 31候補と業者に

選挙公営制度が適用された4月の岐阜県議選で、一部の候補者が県に公費負担させたポスター製作費は過大だったとして、市民団体「くらし・しせん」のち岐阜県民ネットワークは、現職県議23人を含む候補者31人と印刷業者約25社に「水増し受給分」を県に返還させるよう住民監査請求する方針を決めた。18日にも請求手続きをする。

同県の条例は、選挙ポスター製作や選挙カー借り上げなどの費用のうち一定額を公費負担すると定めている。ポスター1枚あたりの単価の負担上限額は、選挙区内の掲示場の数で異なり、同県内では千円台から8千円台まで開きがある。これに対し、同ネットワーク側は、丈夫なプラスチック製ポスターでも一枚600円程度で製作できると指摘。公費負担上限額の80%を超える分について、請求した候補者と印刷業者に、県への返還を求めるという。同県議選には、定数46に71人が立候補。66人が公費負担を請求していた。同ネットワーク側は今年3月、08年の同県議選についても同様の住民監査請求をしたが、県監査委員は4月、会計行為から1年を過ぎているものに住民監査請求はできないことを理由に、請求を却下していた。

(岡本洋太郎)

2007.6.14 中日(夕)

# 県議、返還申し出

## 元市議 公費負担の全額、市に

公費で負担されるポスター代を山県市議らが水増し請求したとされる詐欺容疑事件で、県警の事情聴取を受けた元同市議の県議室が、疑惑の発覚後、公費負担された全額を同市に返還したいと申し出ていたことが13日、分かった。

山県市議選 請求額 110万4千円(平成17年4月の市議選で増し請求したとされる詐欺容疑事件で、今年4月の統一選挙で県議に引き継いだ。印刷業者によると、県議は市議選が行われた当時、ポスター、名刺、はがき、室内用ポスター、リーフレットの印刷を依頼。選挙公営で負担される限度額(約三十七万円)以上の金額となり、ポスター代として限度額ぎりぎりの金額を市に請求。差額は自分で支払った。

実際に掛かったポスター代は十数万円だったといい、請求額には公営制度で認められていない別の印刷代も含まれていたという。県議は岐阜新聞社の取材に「フーコメント」を繰り返している。

# 瑞浪市議も水増し

## 選挙ポスター はがき代も含む

二月に行われた岐阜県瑞浪市議選で、当選した男性市議の選挙ポスター製作費に、市から上限額の三万四千七百七十円の支払いを受けていたことが分かった。

業者の男性によると、一月下旬に市議自身が一枚当たりの公費負担上限額の二千九百八十五円を記入した作製契約書を持

瑞浪市議選で、当選した男性市議の選挙ポスター製作費に、市から上限額の三万四千七百七十円の支払いを受けていたことが分かった。

業者の男性によると、一月下旬に市議自身が一枚当たりの公費負担上限額の二千九百八十五円を記入した作製契約書を持

関係者によると、県議は今年十一月、同市役所を訪れ、全額の返済を申し出た。しかし、市側は公選法の寄付行為に当たる可能性もある、などと断ったという。

2007.6.14 毎日  
おはよう岐阜

# 県議、返還申し出

## 市、「対応検討中」と断る

04年の山県市議選で当選した5人前後が、公費負担される選挙ポスター制作費を市に水増し請求

13日わかった。この県議は04年の同市議選で選挙公営制度のポスター制作費の上限(約

37万円)のほぼ満額を市に請求したとされる。今年4月の統一地方選で県に当選した。同市などによると、県警は上限に近い額を市に請求した5人前後から事前に市役所を訪れ、当日の市議選の際に請求したポスター代の全額返還を疑って岐阜地検に書類送検する方針。【稲垣衆史】

# 山県市選挙 県議が返金を打診

岐阜県山県市の選挙ポスター制作費をめぐる詐欺疑惑で、県警から事情聴取を受けた県議5人が今回の疑惑の発覚後、市に「迷惑をかけた」として、ポスター制作費の全額を市に返すと打診していたことが分かった。

この県議は疑惑の舞台となった「〇〇四年四月の山県市議選で当選した後、今年四月の統一地方選で県議に再び当選した」という。県議は「〇四年の市議選で県議に再び当選した」という。

日新聞の取材に「ノーコメント。時期が来たら話す」としている。関係者によると、県議は「迷惑をかけた」として、ポスター制作費の全額を市に返すと打診していたことが分かった。

選挙公営制度に基づいて市費負担となるポスター制作費の水増し請求を認めたらうで、進退について「常識は持っている」と述べ、辞職も示唆した。

この市議は、疑惑の舞台となった「〇〇四年四月の山県市議選で、ポスター制作費として一人当たり認められる上限に近い二十六万八千五百五十円を市に請求したが、

実際にポスター制作にかかった費用よりも水増しした額だった。市から不正に得た金額については「ノーコメント」としたが、市議は「事の重大さを認識し、深く反省している。金については自主的に返還したい考えがある」と話した。

一方、元山県市議で、県警から事情聴取を受けている県議5人は疑惑発覚後の今年十一月、山県市役所を訪れ、「迷惑をかけた」として、〇四年四月の市議選後に市から支給されたポスター制作費の全額(二十六万八千

中

## 山県ポスター費疑惑

# 聴取の市議 辞職示唆

## 水増し認め「常識ある」

岐阜県山県市の選挙ポスター制作費をめぐる詐欺疑惑で、県警から事情聴取を受けた市議5人が、今回の疑惑の発覚後、市に「迷惑をかけた」として、ポスター制作費の全額を市に返すと打診していたことが分かった。

この市議は、疑惑の舞台となった「〇〇四年四月の山県市議選で、ポスター制作費として一人当たり認められる上限に近い二十六万八千五百五十円を市に請求したが、実際にポスター制作にかかった費用よりも水増しした額だった。市から不正に得た金額については「ノーコメント」としたが、市議は「事の重大さを認識し、深く反省している。金については自主的に返還したい考えがある」と話した。

一方、元山県市議で、県警から事情聴取を受けている県議5人は疑惑発覚後の今年十一月、山県市役所を訪れ、「迷惑をかけた」として、〇四年四月の市議選後に市から支給されたポスター制作費の全額(二十六万八千

07年(平成19年)6月14日(木曜日)

統一地方選で県議選に出馬して当選した。県議は水増し請求疑惑や市に返還を申し入れたことについて「ノーコメント」としている。県警は、この二人を含めた数人について詐欺容疑で事情聴取を進めている。

# 返還打診、悩む選管

## 県議・市議「みそぎ」を急ぐ

### ポスター代「水増し」

山県市議選のポスター代水増し請求問題で、疑惑がかかる市議らが13日までに、相次いで水増し分を返還する意思を示した。県選挙管理委員会によると、当選時に公費負担を請求した複数の県議からもポスター代返還の相談があった。早急に公費負担分を返還して「みそぎ」にし、参院選の集票に専念したい事情があるようだ。しかし、公費返還は公選法で定める寄付行為の禁止に抵触する恐れがあり、各選管は、法的根拠を慎重に調べている。

「受け取る態勢がまだ取れていなかったという理由で断ったようだ」。平野元・山県市長は13日、朝日新聞の取材に、県議に転身した元市議(53)の返還を断った理由を説明した。

県議は参院選立候補予定者の同市での集票のまとめ役。問題が長引けば影響は必至だ。他に現職市議(57)も朝日新聞の取材に対し、水増し分返還の意思を示している。

県選管によると、複数の県議からも「仮に、余分に請求した分を返還する」としたら手続きは」と相談があったという。県選管は「具体的な水増しの事実はない」としているが、県政自民

による印刷代公費負担を利用しなかった状態に戻すという措置を採用した。各市議が印刷業者と結んだ契約を取り下げ、業者が市に請求額を返還した上で、市議たちは改めて印刷代全額を業者に実費で支払った。

総務省選挙課は「相手方が市であっても、選挙区で印刷代全額を業者に実費で支払った。総務省選挙課は「相手方が市であっても、選挙区

内の者に該当するため、市議が寄付をすることはできない」とした上で、「水増し金返還を寄付と

見なすべきかは疑問で、最終的な判断は、司法当局に委ねるしかない」としている。

## ポスター代 瑞浪市議も水増し 業者証言、4人が上限額

選挙公費制度が適用された今年2月の岐阜県瑞浪市議選で、男性市議の選挙ポスターを作製した業者が13日、朝日新聞の取材に対し、公費負担対象外の選挙用はがき印刷代をポスター作製費に加え、市から上限額の支払いを受けたことを明らかにした。同市議選では、この市議を含め4人が上限の36万4170円を申請。最低額の7倍近い額に相当する。

業者によると、過去4回の選挙でポスターを受注した市議から「この額で契約して」と、ポスターとはがきの印刷を依頼された。1月22日付で交わした「ポスター作成契約書」は、市議自身が1枚当たりの公費負担上限の「29850円」と書き込んだものを持参した。

業者側が、はがき印刷代の納品書や請求書を発行しようとする時、「まあいい、まあいい」と制されたという。

市議は取材に対し、はがき約2千枚を印刷したことは認めたが、市選挙管理委員会に出した選挙運動費用の収支報告書にはがき印刷代の記載はない。「印刷代」として詳しく承知していない。調べてみる」と話した。

ポスター1枚の単価は最高29850円、最低4

41円、6・8倍の開きがある。

ポスター作製費の公費負担をめぐっては、同県山県市議選でも、県警が詐欺容疑での立件を目指し裏付けを進めている。

県議返還申し出 山県市長認める 岐阜県山県市の平野元市長は13日、朝日新聞の取材に対し、県議に転身した元市議(53)が04年の市議選の水増し請求分返還を申し出したことについて、「11日朝に副市長のところを持ってきたと報告を受けた」と話した。副市長は水増し分が

特定できないなどの理由から、「検討した上で返事をしたい」と答え、受け取らなかったという。平野市長は「捜査が終わった後、返還を受けるか考えたい」と話した。

(社会面) 2007.6.14 朝日

選挙運動用ポスター作成契約書



選挙運動用ポスター作成契約書
瑞浪市議会議員選挙の選挙運動のために作成する公費負担用ポスター1枚あたり1枚あたり2985円のポスターの作成について、次のとおり契約を締結する。

- 1. 甲は、これに対して次に掲げるポスターを作成し、乙は、これを納品するものとする。
(1) 枚数 各211枚
(2) 納期 平成19年7月15日以前
2. 請負代金は、次のとおりとする。
(1) 1枚当たりの金額 2985円
(2) 契約金額 364,170円

瑞浪市議選は、定数18に28人が立候補。各候補が市選挙管理委員会に提出した選挙運動費用収支報告書によると、4人がポスター制作費を公費負担の上限額に請求していた。このほか上限未達の36万円台が2人、35万円台が4人、34万円台と33万円台が各1人。最も多かった25万円台は8人。21万円台、5万円台が各1人だった。残る1人は9万円台で、公費負担を求めなかった。

請求の平均額は約29万円8千円で、土岐市議選の約22万円9千円を大きく上回る。東濃3市の人口は多治見約12万人、土岐約

# 作製費 平均30万円

## 公費混同

選挙ポスター代疑惑

山県市議選のポスター代水増し疑惑と同様の問題が表面化した2月の瑞浪市議選で、候補者28人中11人が、公費負担の上限(36万4170円)の95%を超えるポスター制作費を請求していたことが分かった。請求した22人の平均額は約30万円、ポスター枚数が85枚多い隣の土岐市議選(4月実施)の請求平均額を約7万円上回る突出ぶり。東濃3市では、多治見市議選(4月実施)でも、候補者80人の過半数が上限額いっぱいを請求していた。(森山浩之)

# 瑞浪市議選の請求突出

## 11人、上限の95%超

6万人、瑞浪約4万人で、公費負担されるポスターは各211、207、122枚。請求平均額の1枚当たりの単価は、それぞれ約1770円、1100円、2440円となり、瑞浪市議選の突出ぶりが目立つ。東濃地方のある印刷業者は「瑞浪市議のポスター代は相場より10万円くらい高い」と驚く。自己負担の選挙用はがき(約2千枚)の印刷代と合わせ50万円近くを収支報告書に計上した候補もいるが、「特別な加工やデザイン料などがなければ、原価ははがきと合わせてせいぜい20万円。業者のぼろもうけだ」と話す。

一方、多治見市議選(定数24)では、立候補した30人のうち過半数の18人が、公費負担の上限額40万9762円を請求した。最も少ない請求額は11万5206円で、30万円近い差があった。平均は約37万4千円で、東濃3市で最も高かった。

## 選代 瑞浪市議も水増し

今年二月に行われた瑞浪市議選で男性市議の選挙ポスターを作製した市内の印刷業者が、公費負担対象外となる選挙用のがきを代をポスター制作費に含めて、公費負担上限額三十六万四千七百七十円の支払いを受けていたことが十四日分かった。業者によると、市議はポスターのほかに、はがき約二千枚の印刷を注文したという。しかし、ポスター代の経費のみを記載した「選挙運動用ポスター作成契約書」を自ら作成し、一月二十二日付で契約を交わした。この際、業者はがき代のことを聞くと、市議は「まあいいから」と話した。

2007-6-15 山県

山県市議会一般質問

# 質問通告者4人過去最少

## ポスター費 2氏、市の対応問う 詐欺疑惑

選挙ポスター製作費をめぐり公費詐欺疑惑で揺れる山県市議会は、開会中の六月定例会で本会議の一般質問に立つと通告した市議が、四人で締め切られた。現行定数にならなから過去最少で、当初二百問を予定していた一般質問を一日に減らした。市議の間では「騒動の中、質問を考慮した議員も多いのでは」と推測する声も聞かれる。質問に立つ市議のうち二氏が詐欺疑惑について、市の対応を問う構えだ。

選挙ポスター製作費をめぐり公費詐欺疑惑で揺れる山県市議会は、開会中の六月定例会で本会議の一般質問に立つと通告した市議が、四人で締め切られた。現行定数にならなから過去最少で、当初二百問を予定していた一般質問を一日に減らした。市議の間では「騒動の中、質問を考慮した議員も多いのでは」と推測する声も聞かれる。質問に立つ市議のうち二氏が詐欺疑惑について、市の対応を問う構えだ。

選挙ポスター製作費をめぐり公費詐欺疑惑で揺れる山県市議会は、開会中の六月定例会で本会議の一般質問に立つと通告した市議が、四人で締め切られた。現行定数にならなから過去最少で、当初二百問を予定していた一般質問を一日に減らした。市議の間では「騒動の中、質問を考慮した議員も多いのでは」と推測する声も聞かれる。質問に立つ市議のうち二氏が詐欺疑惑について、市の対応を問う構えだ。

選挙ポスター製作費をめぐり公費詐欺疑惑で揺れる山県市議会は、開会中の六月定例会で本会議の一般質問に立つと通告した市議が、四人で締め切られた。現行定数にならなから過去最少で、当初二百問を予定していた一般質問を一日に減らした。市議の間では「騒動の中、質問を考慮した議員も多いのでは」と推測する声も聞かれる。質問に立つ市議のうち二氏が詐欺疑惑について、市の対応を問う構えだ。

選挙ポスター製作費をめぐり公費詐欺疑惑で揺れる山県市議会は、開会中の六月定例会で本会議の一般質問に立つと通告した市議が、四人で締め切られた。現行定数にならなから過去最少で、当初二百問を予定していた一般質問を一日に減らした。市議の間では「騒動の中、質問を考慮した議員も多いのでは」と推測する声も聞かれる。質問に立つ市議のうち二氏が詐欺疑惑について、市の対応を問う構えだ。

## 4市議が謝罪

同僚市議 一人は「進退も視野」  
山県市議会の六月定例会初日の十二日に開かれ「進退も視野に入れて」と発言したという。本会議散会後に、ポスター製作費をめぐる公費詐欺疑惑への対応協議に向け、「迷惑をお掛けしている」と謝罪していたことが分かった。

同僚市議 一人は「進退も視野」  
山県市議会の六月定例会初日の十二日に開かれ「進退も視野に入れて」と発言したという。本会議散会後に、ポスター製作費をめぐる公費詐欺疑惑への対応協議に向け、「迷惑をお掛けしている」と謝罪していたことが分かった。

同僚市議 一人は「進退も視野」  
山県市議会の六月定例会初日の十二日に開かれ「進退も視野に入れて」と発言したという。本会議散会後に、ポスター製作費をめぐる公費詐欺疑惑への対応協議に向け、「迷惑をお掛けしている」と謝罪していたことが分かった。

同僚市議 一人は「進退も視野」  
山県市議会の六月定例会初日の十二日に開かれ「進退も視野に入れて」と発言したという。本会議散会後に、ポスター製作費をめぐる公費詐欺疑惑への対応協議に向け、「迷惑をお掛けしている」と謝罪していたことが分かった。

同僚市議 一人は「進退も視野」  
山県市議会の六月定例会初日の十二日に開かれ「進退も視野に入れて」と発言したという。本会議散会後に、ポスター製作費をめぐる公費詐欺疑惑への対応協議に向け、「迷惑をお掛けしている」と謝罪していたことが分かった。

同僚市議 一人は「進退も視野」  
山県市議会の六月定例会初日の十二日に開かれ「進退も視野に入れて」と発言したという。本会議散会後に、ポスター製作費をめぐる公費詐欺疑惑への対応協議に向け、「迷惑をお掛けしている」と謝罪していたことが分かった。

## 上限請求は4人

選挙ポスター費 業者「暗黙の了解」  
はがき代、公費負担  
二月に投開票された瑞浪市議選で、ポスター製作費の公費負担分(最大百二十二枚)の申請額

選挙ポスター費 業者「暗黙の了解」  
はがき代、公費負担  
二月に投開票された瑞浪市議選で、ポスター製作費の公費負担分(最大百二十二枚)の申請額

選挙ポスター費 業者「暗黙の了解」  
はがき代、公費負担  
二月に投開票された瑞浪市議選で、ポスター製作費の公費負担分(最大百二十二枚)の申請額

選挙ポスター費 業者「暗黙の了解」  
はがき代、公費負担  
二月に投開票された瑞浪市議選で、ポスター製作費の公費負担分(最大百二十二枚)の申請額

一般質問では、中田氏が「市選管は、(ポスター製作費に)大きな差があったのなら当然、不審に思っ印刷業者に問い合わせるなど簡単な調査や修正の呼び掛けができるはず」として執行者の責任をたがす予定。市に

一般質問では、中田氏が「市選管は、(ポスター製作費に)大きな差があったのなら当然、不審に思っ印刷業者に問い合わせるなど簡単な調査や修正の呼び掛けができるはず」として執行者の責任をたがす予定。市に

一般質問では、中田氏が「市選管は、(ポスター製作費に)大きな差があったのなら当然、不審に思っ印刷業者に問い合わせるなど簡単な調査や修正の呼び掛けができるはず」として執行者の責任をたがす予定。市に

一般質問では、中田氏が「市選管は、(ポスター製作費に)大きな差があったのなら当然、不審に思っ印刷業者に問い合わせるなど簡単な調査や修正の呼び掛けができるはず」として執行者の責任をたがす予定。市に

市議のポスターを製作した印刷業者によると、男性市議は、公費負担対象外の選挙用はがき印刷代をポスター製作費に含めて申請したとみられる。市議自身が一枚当たりの公費負担上限額の二千九百八十五円を記入した作製契約書を持参し、ポスターとはがきの印刷を依頼。はがきの納品書や請求書を別に発行しようとする「まあ、いいから」と制されたという。

男性市議は「印刷代の内訳を把握していなかった。はがき代を含めて」とは言っていない。業者からはがき代の請求がなく、長い付き合いなので、サービスされたと思った」と話している。

上限額を申請した落選候補者のポスターを製作した印刷業者は、ポスター代は一般的に十三万円くらい。公費負担の中で、はがきも作っているのは暗黙の了解だ」と指摘。「新人は必死だから、公費ぎりぎりまで使ってポスター以外のはがきやパンフレットも作るだろう」との見方を示した。(清水祐樹)